

心豊かなひとときを支える公園の整備

シリーズ市政の「今」。今回は、市内の公園整備の状況を中心にお知らせします。



(仮称)西運動公園の人工芝グラウンドでサッカーを楽しむ子ども達



アスレチック遊具が子ども達に大人気の青葉山ろく公園



園路を結ぶ朱色の橋が印象的な安寿緑地



落葉が始まるとより美しくなる自然文化園の紅葉



桜のシーズンには花見客が多い共楽公園

◆舞鶴市の公園

家族や友人と過ごすにも、一人でのんびりとした時間を楽しむことにも使える公園。市内には個性豊かな公園が数多くあります。

都市公園法に基づいて地方公共団体や国が設置する「都市公園」。市では舞鶴市都市公園条例で39の公園を定めています。その他にも、「緑地」や「運動広場」、地域の要望や開発時に設置された規模の小さい「ちびっこ広場」などの公園があります。

公園の役割として、休養休息の場であること、教養・文化活動などさまざまな余暇活動の場であること、子どもの健全な育成の場であること、競技スポーツや健康づくりの場であることなど、多くの利用効果が求められています。

普段、公園を利用しなくても、そこに公園があることにより、景観に潤いと秩序を与えたり、災害時の避難場所としてや火災時の延焼を防止したり、遅らせる役割もあります。市ではその役割を担うために、それぞれの公園の維持管理をしつつ、新しい機能を持たせ、より満足度が高まる取り組みを行っています。

◆(仮称)西運動公園の整備

現在、整備を進めているものに、(仮称)西運動公園があります。この公園は市内ではもちろん、府北部では初めて整備した人工芝グラウンドのほか、多目的グラウンド、芝生広場、テニスコート、駐車場からなり、テニスコートと駐車場の一部を除いて、今年7月から利用を開始しています。

人工芝グラウンドの整備により、質の高

いスポーツ環境を提供することができるようになりました。さらに世代を問わず集える芝生広場を新たに作り、機能の向上を図りました。多目的グラウンドでは、子どもから高齢者までさまざまな世代が快適にスポーツを楽しめます。このように、心豊かなスポーツライフを推進するとともに、さまざまなスポーツイベントの開催による交流人口の拡大も図っていきます。

また、公募により募っていた同公園の名称は、広報まいつる12月号でお知らせします。グラウンドオープンには来年春を予定しています。

◆公園環境の充実

平成27年に、青葉山ろく公園内にアスレチックコースを整備しました。全長約600mのコースに25種類の遊具を整備し、子ども達が元気良くアスレチックコースを巡り、楽しく遊んでいる声が公園内を飛び交っています。

平成25～26年には、東舞鶴公園と舞鶴文化公園に、ストレッチ運動やバランス運動ができる健康遊具のコースを設置し、健康維持のため、気軽に利用していただいています。

そして現在は、共楽公園の園路の整備を

進めています。特に桜のシーズンには花見客が多いこの公園は、普段も散歩コースとして早朝から訪れる人もあり、より安全に利用できるよう園路舗装の更新工事を行っています。

◆市民ニーズに合った公園整備

市内の公園は約4年に1度、総合的な点検を行い、必要な補修工事や遊具を含めた施設の更新などを限られた予算の中で優先度の高いものから実施しています。また、都市公園の一部については、民間事業者の能力とノウハウを幅広く活用するため、管理や運営を指定管理者に委任しています。

公園には四季折々の表情があり、利用する市民の皆さんにとっても、さまざまな用途があります。子育てに欠かせない公園、健康づくりに必要な公園、心身をリフレッシュしてくれる公園、散歩が楽しい公園など、市として、さらに公園環境の充実を図り、子どもから高齢者までのニーズに合わせ、魅力のある公園整備を継続し、心豊かに暮らせるまちづくりを進めていきます。

天気の良い日には、これまで行ったことのない公園を訪れてみるのはいかがでしょう。新しい出会いや発見が待っているかもしれません。